

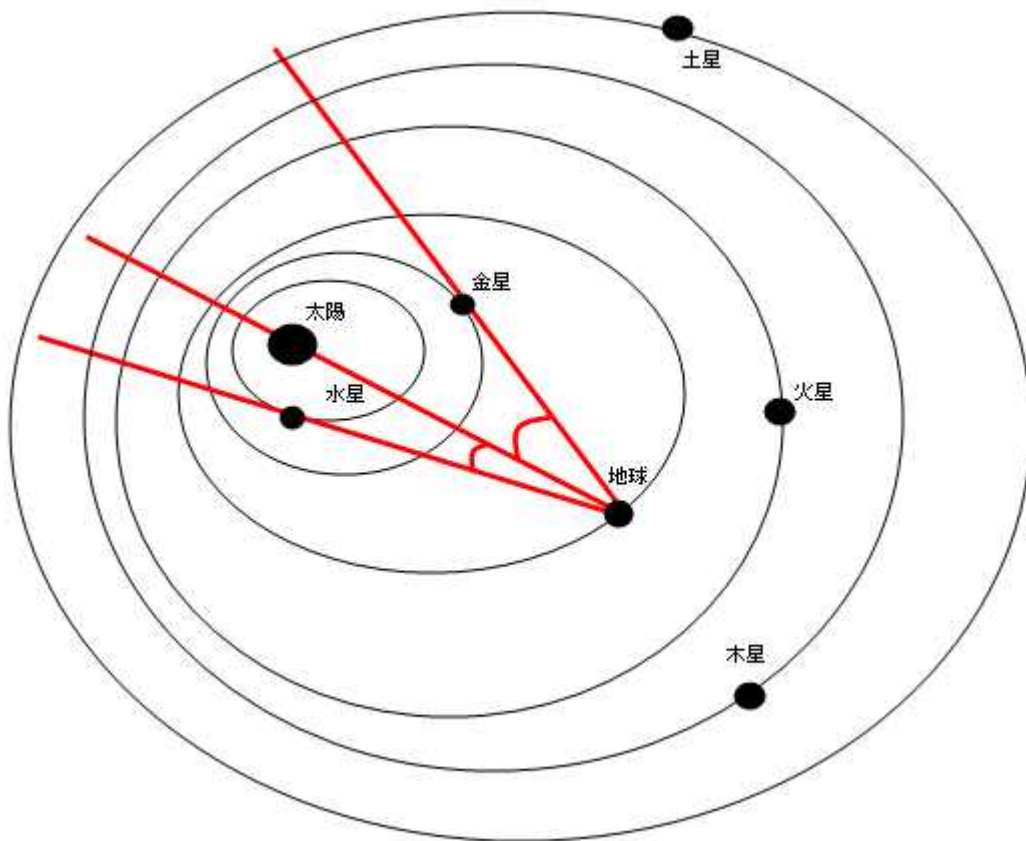
惑星

ジョーティッシュで使用する惑星は、9つあります。

太陽、月、水星、金星、火星、木星、土星、ラーフ、ケートゥです。

その9つの惑星の他にラグナがあります。ラグナは生まれた時の東の地平線と黄道帯との交点をラグナといいます。(ラグナが在住している1室をラグナとも呼びます)

太陽からみて地球より内側を公転しているのが、水星、金星ですが、内側を公転しているため地球から見ると常に金星と水星は太陽の近くにいることになります。(金星と水星は太陽から45°以上、離れません。)金星、水星は身近でプライベートな事柄を表す惑星です。金星、水星は移動速度が速いため、変化しやすく、変わりやすい日常のプライベートな事柄を表すことになります。



しかももっとも身近なのが、月です。月は地球の衛星であり、惑星という呼び方はおかしいかもしれませんが、太陽も含めて皆、惑星と呼びます。地球からみて最も身近にいるのが月であり、1日で地球を公転し、一つの星座を54時間(2日と6時間)で移動し、27日で12星座を一巡します。まさに変化しやすい日常を表すと同時に気持ちの浮き沈みや生活リズムなど、最もプライベートな事柄を表します。

一方、地球よりも外側を公転するのが火星、木星、土星です。

これらは地球よりも外側を公転し、外的で公的な事柄を表します。

変化する速度が遅いため、プライベートな日常よりも、公的な事柄、外的な環境の変化などを表します。

火星は約45日、木星は約12ヶ月(1年)、土星は2年半で、一つの星座を移動しますが、特に木星と土星の移動は最も遅く、大きな環境の変化や出来事を表します。

通常、環境の変化は、毎日起こるものではなく、一度、起こるとしばらくは永続するものです。それは人間の人生では長い周期でやってくるので、特に木星、土星は大きな出来事を表します。

もう一つ、これは惑星ではないですが、ラグナの意味についてですが、これは地球を表していると考えるのが一般的です。

地球は24時間で1回自転しますので、ラグナは24時間で360度回転し、12星座を移動します。そして、一つの星座を2時間で移動します。120分で30°移動するので、1°進むのに4分かかります。つまり、変化のスピードが一番速いのが、ラグナで、2時間で一つの星座を移動します。

もしラグナがなければ、同じ日に生まれた人のチャートはほとんど同じチャートになってしまうため、そうすると、人間社会の複雑な人間のカルマや性格の違いを表現できないので、この出生時間の違いによって、ラグナの違いを作り出し、そして多様な人間のカルマや性格を表していることとなります。

つまり、ラグナは2時間ずつで地球が状態変化を起こしていることを表し、地球を表しています。私達は地球上に住んでいるので、地球を他の惑星のように客観視しにくいのですが、地球自身の変化はラグナとして現れます。

惑星名	英語略	sanskrit	象意	表示体 (人、物)	一つの星座を移動する時間
太陽	Su	Suria	自信、プライド、仕事、リーダーシップ、カリスマ、権力、威厳	父親	1ヶ月
月	Mo	Chandra	感情、心、変化しやすい	母親	2日と6時間
水星	Mer	Budda	知性、コミュニケーション、書籍、パソコン、占星術	おじ	20日
金星	Ve	Shukura	ユーモア、表現、踊り、歌、花、レクリエーション、豪華、贅沢、女性	配偶者	1ヶ月
火星	Ma	mangal	戦争、武器、力、スピード、ナイフ、怪我、事故、争い、血の気の多い若者、不動産	弟	45日
木星	Ju	Guru	教師、拡大発展、数が多い	子供、教師	12ヶ月
土星	Sa	Shani	忍耐、試練、悲惨、貧困、制限、欠乏	老人、警官、検察	2年半
ラーフ	Ra	Rafu	外国人、貪欲、野心、飽くなき欲望	外国人	1年半 (逆行)
ケートゥ	Ke	Ketu	僧侶、寡黙、内省	僧侶	1年半 (逆行)